

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」長野駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			個別療育で、1対1の体制が取れるようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			出入口に数段の階段あり。配慮が必要な利用者様はいないが、怪我のないよう近くで見守りが必要があればサポートしていく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員それぞれの困り感や、要求を汲み取っていけるよう、気軽に話をもつ機会をもっていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今後も、保護者様の声を受け止め、その意向に合わせて、業務改善に努めていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社 HP にて公開していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保護者・社内の2者評価をおこなっており、第三者評価の実施を検討中です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間計画に沿って実施中。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを行っていく上で、事業所外（地域・学校）での姿も捉えて参考にしていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			きらり規定の標準化されたアセスメントシートを使用。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			その都度、チームで考え合って立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子様の成長発達・興味に合わせて工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中は、通常の療育にプラスして“お楽しみ活動”を取り入れて楽しみをもって通えるよう支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			小集団療育の中で体を使った活動や社会性の向上等を願って、適宜取り入れていきたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			特に、安全確保の点においても小集団活動時の役割分担とその内容確認を丁寧に行っていくようにする。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の内に、情報を共有することで、迅速な対応が必要な事項について速やかに対処していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画の具体的な目標に対する表記を中心に行っていく。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング時のみならず、必要に応じて見直しを行っていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行えるようプログラムを立てていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議前には、事業所全体職員でそのお子さんの情報共有を行い会議に参加するようにする。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要なお子さんの学校と連携を行い、情報共有・支援内容の提供を実施していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—			該当児童なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	—			該当児童なし。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—			現時点該当なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			療育コーディネーターからの助言をいただいたり、研修に参加したりしていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		ニーズもなく、新型コロナ感染予防の点からも、今年度行う予定なし。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			可能な限り参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			丁寧な伝えとわかりやすい表現の工夫を行い、親しみを持って療育に対する理解を得ることができるよう対応していく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			個別には対応。ニーズが高まり、可能であれば保護者会の中に組み込んでいくことも検討。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要書類を提示しておく。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的にモニタリングを行うことで、相談に応じる機会を設けている。それに対して、必要な支援や他機関との連携をとるようにする。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度新型コロナ感染予防から、保護者会の開催を実施していない。リモートでの保護者会開催を検討中。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			今後も、迅速な対応が取れるよう、職員間の連携・体制を確立していく。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ラインからの発信は受け入れもよく活用しながら情報を発信していきたい。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きキャビネットに保管。

	⑩	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に合わせて、視覚等優位な手段を用いて伝えていくようにする。
	⑪	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナ感染予防から今年度行っていません。
非常時等の対応	⑫	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定し、周知と訓練の実施をしていく。
	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間計画に沿って、訓練を実施していく。
	⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内全体虐待研修は完了している。折に触れて、再確認していきたい。
	⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現時点で該当者はないが、個別支援計画書には必要に応じた対応について記載済。
	⑯	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—			該当児童なし
	⑰	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			記録を残すと共に、同じことが起こらないよう対応していく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」長野駅前校 保護者等数（児童数）： 37（38） 回収数： 37 割合： 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	5	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	4	0	

制 整 備	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	19	0	・ お手洗いが狭かった感じがしました。
適 切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	36	1	0	・ 子どもの長所に光をあててくれて、適切な支援を計画実行してくれていると思います。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	35	2	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	21	9	・ 特に望んでいない。・ 利用を始めたばかりで様子が把握できませんが、そのような機会は望まないと希望しません。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	1	0	事業所というより、先生方の人柄がとてもすばらしく子ども達の事を考えて下さっていると感じます。思いやりあふれる先生方で何でも話しやすく意思疎通できています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	0	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	24	7	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	34	3	0	・ ありがたいです。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	8	0	ラインでの連絡はとてもありがたい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	37	0	0	
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	34	3	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33	4	0	
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	33	4	0	・ 毎回とても楽しみにしています。・ 先生方がありのまま受け入れてくれているのが分かっているようで、楽しみに通わせてもらっています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	35	2	0	・ とても満足している。・ 希望を聞いてくれ、本人が楽しめるよういろいろ考え

					<p>てくれてありがたい。・先生方には、常に明るくやさしく接していただき通うのをとても楽しみにしています。又、私達の要望にも応えていただき感謝しています。・週1回ですが、先生方がとても熱心に細やかに関わってくださり、親とのコミュニケーションも大切にして下さりとても良い事業所だと思います。</p>
--	--	--	--	--	--

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。